

## 新聞作り講習会

### 「手軽に作れる新聞づくりとその活用方法」

と き 平成20年10月17日

ところ 更別村立更別中央中学校

豊頃町立豊頃小学校 阿部 英一

#### 1. はじめに

授業や特別活動で新聞づくりに取り組んでいる学校（学級）は少なくありません。子どもたちの興味・関心をひきだし、意欲的に取り組める新聞づくりの教育的な効果が高いと感じている先生方が多いからでしょう。

しかし、

- ・時間の確保が難しい…
- ・どのように作らせたらいいのだろう…

など悩みを持っている先生はいませんか？

今回の講習会では、新聞づくりの『入門期』を体験し、作り方、活用方法について考えてみます。今後の指導のヒントになれば幸いです。

#### 2. 新聞づくりはどのような場面で？

新聞づくりはどのような場面で行えばよいのですか？

（例）行事・学級活動とのリンク

班づくり、学級づくりのスタートやまとめとして（学級新聞・班新聞）

学級（係）活動の連絡や活動報告

学習発表会、運動会のまとめ

教科とのリンク

生活科・総合的な学習の時間

体験学習のまとめ

（町探検、宿泊学習、修学旅行）

社会科の調べ学習のまとめ

（農作業、歴史新聞）



この他にも、児童会（生徒会）新聞やクラブ活動、夏休みは冬休みの自由研究として新聞づくりに取り組むこともあります。

### 3. 新聞のサイズって？

#### ・模造紙サイズ

オーソドックスなかべ新聞型。罫線入りのものがお勧めですが、レイアウトの雛型になっている新聞模造紙もあります。（文房具屋さんで取り扱っています）

グループ学習向きですが、時間があれば個人でも可。



#### ・B4（B5 A3 A4）サイズ

印刷して配布できるサイズ。個人でもグループでも取り組めます。手書きだけでなく、パソコンを使うこともできます。これも、新聞のレイアウトが印刷してある原稿用紙が販売されています。（無償で手に入れることもできます。）

#### ・はがき

メモ感覚で作成できる手軽なサイズです。一言感想など、評価の材料として活用することも可能です。

#### ・もちろん、これらの型にとられないサイズ、雑誌型などもあります。

### 4. 新聞づくりは計画的に…

「新聞づくりは時間がかかる（時間が取れない）」

「思ったような仕上がりにならない」という声をよく聞きます。

なぜ、そうなるのでしょうか？

「計画はどうなっていますか？」

- ・ねらいや教育課程への位置づけ
- ・年間指導計画（行事との関連づけ）

例えば 「グループ新聞を作る」という活動を計画する場合は、まず、ねらいや目標を定めます

- ・新聞づくりを通じて友だち同士の交流を深める
- ・役割を持って仕事に取り組む姿勢を育てる
- ・いつ、どこで、だれが、どうした をはっきりさせた作文を書く

すると、

時期としては4～5月で、教科は国語、総合（生活科）、学活で年間指導計画に組み入れることができます。当然、必要な時数も確保できます。作品の仕上がりにだけでなく、取り組んでいるときの様子などで評価することもできます。時間をかけ、集中して取り組むだけに、「新聞をつくるのが目標やねらい」になりがちですが、

新聞づくりはねらいを達成するためのひとつの手段と考え、年間指導計画を立てる際、どの時期に、どのような内容で取り組むかをイメージしておけば、教科や行事との関連がはっきりし、時数の確保も容易(?)になってくると思います。コンクールへの出品なども、年間スケジュールがわかれば取り組みやすいです。

## 5. 手軽にできる「はがき新聞づくり」に挑戦してみましよう

新聞づくりのテーマ 「今日の研修の感想をまとめよう」

①まず、本日の研究大会で印象に残った内容、言葉を思い浮かべましよう。

(メモ用紙に書き出してもよいですよ)

②新聞のタイトル、見出しを書きましよう

③記事をまとめて書きましよう

- ・タイトル、見出しなどを除いた文字数を数える。
- ・定められた文字数に記事(感想)を書く。

④色鉛筆やペンでカラーリングする(必要な方だけ)

⑤交流する (はがきサイズスキャナー はがきサイズプリンターで印刷)



## 6. 作った新聞の活用…

作成した新聞の最大の活用方法は発信です。印刷物やかへ新聞として公開することを伝えておけば、読み手(保護者、下級生、友だち、町の人…)を意識した活動へつながります。公開した作品に対する評価がもらえれば、今後の活動への意欲づけにもなります。(文字を丁寧に書く、わかりやすい文章、見やすいレイアウトなど…)今回体験した「はがき新聞」であれば、切手を貼って送ることで、遠くの町(海外も可能かも)に住む友だちとのコミュニケーションを図るという活動へと広がっていくこともできます。どのように活用するかという点まで計画にいらしておけば、活動に一貫性も生まれ、さらに充実した活動になるはずですよ。

## 7. おわりに

小学校では平成21年度から新学習指導要領への移行措置が始まります。

どの学校でも、教育課程の見直しや年間指導計画の再編成などの作業が年度内に行われると思います。大変な作業だとは思いますが、これは、教育活動全体を見直す上で、絶好の機会だと思います。今回は「新聞づくり」というテーマで講習させていただきましたが、これは「新聞活用」なども含め、すべての教科、領域に共通していることだと思います。ねらいや目的をしっかりと持った上で、計画的に教育活動を行うことで、子どもたちの「確かな学力」を育み『生きる力』を身につけることができるのです。

今回の講習会が、今後の先生方の活動でなんらかのヒントになれば幸いです。